

ヒロハノヘビノボラス

メギ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

Berberis amurensis Rupr. var. *japonica* (Regel) Rehd.

選定理由

石川県では、生育地が限られている。また個体数もきわめて少ない。(現況:RO)

形態

幹は分枝し、縦に稜と溝がある。葉腋には鋭い刺がある。葉は倒卵形、葉の縁には刺毛がある。短枝の先にやや垂れぎみの総状花序を出し、10数個の黄色い花をつける。花序はほぼ葉と同長、またはより長い。

国内分布

北海道～九州。

県内分布

外浦区、南加賀区。

生態など

高さ3mの落葉低木である。開花期は4～5月。果実は楕円形で赤く熟する。

生育環境

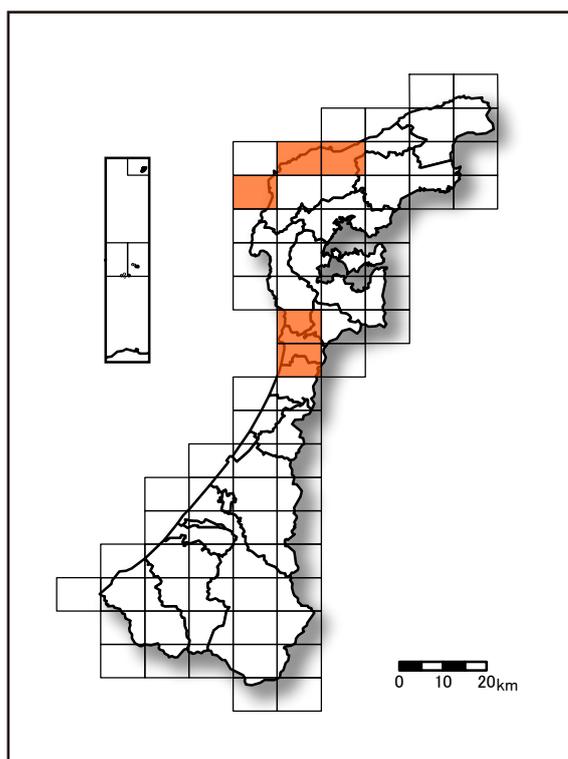
崖斜面、岩場に生育する。

危険要因

道路工事、自然遷移、園芸採取、産地局限。



林 二良・2005年5月22日・南加賀



県内の分布